

恩師5人の激励活気に

昭和53年卒同期会

第4回同期会が72人の出席を得て8月14日イヤタカで開催されました。校歌斉唱、同期会会長亀井哲夫君の挨拶の後、来賓代表の小野寺清先生から“50歳半ばの君たちはこれから先の人生が重要”という秋高生時代と変わらない叱咤激励をうけました。

元生徒会長柏崎洋樹君の乾杯で宴が始まり、川口百合子先生から“最近北アルプスに登り、昨年は南米に行った”との元気なお話がありました。高橋祥祐先生は“同期会に出るのは若い人のエキスを吸うため”と、三船新次先生は昔と変わらない体型で“年をとると筋力を保つことが重要”と話され、柴田義弘先生は一回り違う私たちに“恩師より早く死んではいけない”と諭されました。

想い出話は尽きることなく、激しい雨の中を移動し2次会会場に63人がなだれ込みました。次は4年後に開催される予定ですので多くの同期生のご参集をお待ちしております。
(三浦俊一 記)



還暦を祝う会に99人参加

昭和49年卒同期会

2年半ごとに開催している49年卒同期会は、還暦を祝う会として1年前倒しで8月15日、秋田キャッスルホテルで開催。恩師の三船新次、藤田幸雄、小野寺清、芳賀哲雄の各先生を含め99人の参加があり大いに盛り上がった。

幹事を代表して小泉ひろみが歓迎の挨拶、母校校長の伊藤成年が学校紹介を兼ねて乾杯。恩師の挨拶のあと、初参加の同期生10人からは、近況報告や今回メッセージ募集したテーマ「60歳になって思うこと」「今後10年あなたは何をしますか」などの話があり、共感や驚きの声も。

恒例となった校歌・エールリードの元応援団荘司裕は赤い学生服でサプライズ登場。同窓会副会長の佐野元彦の中締めのお話で祝賀会はお開き。同日開催の中学校同期会への参加者以外は、同ホテル・ロータスでの2次会へ。千秋公園の夜景を見ながら、往時の思い出と第二の人生でチャレンジしたいことなど大いに語り合った。

(佐藤悦紹 記)



〳八十路パワー、健在

昭和27年卒同期会

私どもは、終戦翌年の昭和21年4月、秋田中学としての最後の入学生で、2年前80歳の大会を越え、会員も減少傾向にあるが、総会と新年会の開催、同期会報の発行(年3回)を続け現在に至っている。

平成27年度の総会は6月4日午後6時から秋田市の協働大町ビルで、町田春同窓会長と佐藤英明事務局長を招き、会員は東京から2人、札幌から1人、県内18人の総員23人で盛会に開催出来た。

懇親会は町田会長の父君・恩師町田與太郎先生との思い出やエピソードを中心に、長い間の絆と互いの健康を祝して盛り上ったものとなった。校歌、応援歌、万歳三唱の発声で来年の再会を期し閉会。互いに八十路に入り、アルコールの効き目は早くなったが、元気さは変わらず、懇親を深め、思い出に残る記念の会となった。

(嵯峨正博 記)



今年も賑やかに愉快的な宴

秋高32会総会

9月4日、メトロポリタンホテル秋田に「32会」会員36人が出席(県外から5人出席)総会が開催されました。昨年喜寿の祝いを済ませており、参加者の不足が心配されましたが、今年も無事開催することが出来ました。

物故者が増加していることが事務局から報告され、お互いに健康に留意し、何とか次のオリンピックまでは頑張ろうということで会議が終わり、懇親会へと移りました。乾杯が終わると、あっという間に、昭和30年代の駅前校舎時代にタイムスリップし、賑やかに、元気よく、愉快的な楽しい宴となりました。中締めで、佐々木信吾副会長から、「皆さん健康長寿でなければ生きていく意義がない!」との檄が飛び、校歌大合唱で今年度の32会も無事に幕となりました。

(國安志郎 記)



②原稿の最後に執筆者名(支部等にあつては卒業年次も)をお忘れなく。

③投稿いただいた原稿、写真はお返ししません。どうぞご了承ください。(広報委員会)